

信 頼 性 ニ ュ ー ス

No. 71 2010年4月

発行：日本信頼性学会
東京都渋谷区千駄ヶ谷 5-10-11(財)日本科学技術連盟内
TEL 03-5378-9853 FAX 03-5378-9844
WWWホームページ <http://reaj.i-juse.co.jp>
発行責任者：長塚豪己（編集委員会信頼性ニュース小委員長）

日本信頼性学会第32回年次総会・第18回春季信頼性シンポジウム

開催のお知らせ

第32回年次総会、特別講演会、春季信頼性シンポジウムおよび情報交換会を下記の通り開催いたしますので、ご都合お差し繰りのうえご出席ください。

諸準備の都合上、別途、お送りいたします返信葉書にてご出席の有無を5月21日までにご連絡くださるようお願い申し上げます。「正会員」の方で総会に欠席される場合は、必ず委任状に記名捺印の上、ご投函ください。

記

(日 時) 2010年5月28日(金) 10:30～19:30(終了時刻は予定です)
(会 場) 財団法人日本科学技術連盟 千駄ヶ谷本部ビル 1号館3階講堂 他
東京都渋谷区千駄ヶ谷 5-10-11
(JR「代々木駅」または「千駄ヶ谷駅」、都営大江戸線「代々木駅」または「国立競技場駅」から徒歩約10分)

(プログラム)

- | | | |
|---------------------|-------------|-----------|
| (1) 年次総会 | 10:30～12:00 | 1号館3階講堂 |
| (2) 特別講演 | 13:00～14:30 | 1号館3階講堂 |
| (3) 第18回春季信頼性シンポジウム | 14:40～ | 1号館3階講堂 他 |
- 参加費：正会員 2,000円、学生会員(学生) 1,000円
賛助会員 2,000円、非会員 3,500円

*シンポジウムプログラムは、決定次第、学会ホームページ
(<http://reaj.i-juse.co.jp/>)に掲載いたします。

- | | |
|-----------|---------------------|
| (4) 情報交換会 | シンポジウム終了後～19:30(予定) |
|-----------|---------------------|
- 参加費：2,000円

参加費は、当日会場(受付)にてお支払いください。

(お問い合わせ) 日本信頼性学会 事務局

〒166-0003 東京都杉並区高円寺南 1-2-1(財)日科技連内
TEL03-5378-9853 FAX03-5378-9844 E-mail: reaj@juse.or.jp

IEC ディペンダビリティ規格研究会 開催のご案内

信頼性、保全性及び保全支援の計画と管理を規定する国際規格IEC 60300 シリーズの適用に関する研究会です。会合は、月一回。いつからでも入会できます。

(日 時) 第 77 回 2010 年 4 月 20 日 (火) 18:30 ~ 21:00

第 78 回 2010 年 5 月 19 日 (水) 18:30 ~ 21:00

(場 所) 日本科学技術連盟 千駄ヶ谷本部ビル 会議室

(JR代々木駅または千駄ヶ谷駅から徒歩10分, 地下鉄副都心線 北参道駅から徒歩7分,
都営大江戸線 代々木駅または国立競技場駅から徒歩10分)

(内 容) 保全性性能を確保するための中心的役割を持つ, 保全性プログラムの適用の手引き, IEC 60300-3-10: Maintainability の研究を行います。規格の翻訳とその内容の審議を行い, 適用上の問題点を明確にし, 最終的に訳文書と解説書を作成します。理解を広める上で必要な関連規格, 60300-3-11: Reliability centered maintenance, 60300-3-12: Integrated logistic support など適宜調査します。前年度から継続中の 60300-3-9: Risk analysis of technological system の二次審議及び解説書のまとめを併行して行います。

この研究会は, これらの規格を正確に理解し, わが国の企業がこれらの規格を効果的に適用できるための検討を行い, 会員に周知したいと考えています。新しい会員, 特に, 若手会員の参加を歓迎します。

(問 合 先) 主 査 山内 慎二 (自宅) Tel/Fax 03-3948-7364

副主査 黒田 豊 (自宅) Tel/Fax 042-563-1501

LCC (Life Cycle Costing) 研究会 例会のお知らせ

国際規格 IEC 60300-3-3:Life Cycle Costing 2nd Ed. (2004) の英語版を教材として用い, 輪読式に翻訳と内容検討, 技術的関連事項の調査研究, 適用事例収集を行いつつ, メンバー相互の研鑽に励んでおります。

原則として月一回の例会と春秋の発表会への参画, 情報収集等 LCC ロードマップに沿った活動を行っております。新規参画歓迎。

(日 時) 2010 年 4 月 23 日 (金) 18:00 ~ 20:00

2010 年 5 月 21 日 (金) 18:00 ~ 20:00

2010 年 6 月 25 日 (金) 18:00 ~ 20:00

(場 所) 日本科学技術連盟 千駄ヶ谷本部ビル 会議室

(JR代々木駅または千駄ヶ谷駅から徒歩10分, 地下鉄副都心線 北参道駅から徒歩7分,
都営大江戸線 代々木駅または国立競技場駅から徒歩10分)

(資 料) IEC 60300-3-3:Life Cycle Costing 2nd Ed. (2004)

(連 絡 先) 研究会主査 夏目 武 natsumetom@ybb.ne.jp

同 副主査 古野 紀雄 n-furuno@ct.jp.nec.com

山内 慎二 yamanouc@mbc.ocn.ne.jp

日本信頼性学会関西支部 2009 年度第 3 回見学会のご案内

次の通り日本信頼性学会 関西支部の見学会を開催します。会員の皆様は勿論、会員外の方々もお誘い合わせの上、是非多数ご参加くださいますようご案内申し上げます。

(日 時) 2010 年 5 月 13 日(木) 14:30~16:30

(見 学 先) エスペック株式会社 神戸試験所

〒651-1514 神戸市北区鹿の子台南町 5-2-5

http://www.espec.co.jp/corporate/group/group_domest01.html

(交 通) JR 宝塚線(福知山線)三田駅より バスまたはタクシーにて約 15 分
(バス詳細は参加者に別途連絡)

(内 容) 1. 会社紹介

2. 環境試験受託試験設備の見学(ピオトープ-エスペックの森含む)

3. 講演

「受託試験設備の省エネ装置運用・設備管理事例」

「高加速温度サイクル試験器によるはんだ接合評価試験事例」

エスペック株式会社テストセンターは、環境試験の受託・信頼性試験の研究開発を過去 20 年以上行っています。その経験を活かして、信頼性試験の設計から評価・解析、さらに評価結果に対する改善提案まで、各プロセス単位、あるいはトータルに信頼性試験を受託しています。試験所の拠点は全国 4 カ所あり、ISO/IEC17025 に基づく IECQ 独立試験所と認定された第三者機関として高い安全性と信頼性を有する試験結果の提供をしています。試験所では環境試験器に限らず材料試験器や分析装置を設置し、形態観察や表面分析をはじめとする分析・解析も行っています。

今回の神戸試験所の見学会では国内唯一の砂塵試験器の見学をはじめ、温度サイクル試験の要望の高い高加速化を具現化した特殊仕様の温度サイクル試験器とその実施結果や動向についてもご紹介致します。さらに車載機器の実使用環境を模擬した試験器など環境試験器メーカーの試験所ならではの設備見学も予定しています。また昨今関心の高いエコな取り組みとして、試験設備の省エネ運用・設備管理事例や試験器の集中管理システムのご紹介をいたします。

なお、試験所では環境啓発活動の一環として豊かな森作りが行われていて、兵庫県から“環境にやさしい事業者賞”を受賞されているピオトープ-エスペックの森も見学コースに加えています。またとない機会ですので、多くの方の御参加をお待ちしております。

(参加費) 会員および学生：無料 / 非会員：2,000 円

(申込先) 日本信頼性学会 関西支部 事務局 [植村]

〒530-0004 大阪市北区堂島浜 2-1-25 中央電気倶楽部 4 階

(財)日本科学技術連盟 大阪事務所 内

Tel: 06-6341-4627 Fax: 06-6341-4615

(申込方法) E-mail: reaj-kansai@juse.or.jp

氏名、会社名、所属、所在地、電話番号、会員番号(非会員の場合は一般と記入)を記入の上、上記宛先までお申込みください。

(申込締切) 2010 年 5 月 6 日(木)

注：参加人数は 20 名以内とします。

(社)日本機械学会 産業・化学機械と安全部門 企画

食品製造設備の安全設計による競争力強化の課題

- (日 時) 2010年6月18日(金) 9:30 ~ 17:00
(会 場) (社)日本機械学会 会議室(新宿区信濃町35番地 信濃町煉瓦会館5階)
(主 催) 社団法人日本機械学会 産業・化学機械と安全部門
(協 賛) 日本信頼性学会 他
(聴 講 料) 会員・協賛学協会会員20,000円(学生員7,000円)
信頼性学会会員の方は、会員金額になります。
(申 込 先) (社)日本機械学会 産業・化学機械と安全部門担当
〒160-0016 東京都新宿区信濃町35 信濃町煉瓦会館5階
TEL : 03-5360-3504 FAX : 03-5360-3508
詳細は、<http://www.jsme.or.jp/event/201004/1006181s.htm> をご参照ください。

(社)日本経営工学会創立60周年記念討論会・講演会

- (日 時) 2010年5月14日(金) 10:00 ~ 19:00
(会 場) ベルサール神保町(千代田区西神田3-2-1 千代田ファーストビル南館)
(主 催) (社)日本経営工学会
(協 賛) 日本信頼性学会 他
(参 加 費) 無料、交流会は別途2,000円
(お問い合わせ) (社)日本経営工学会 事務局
〒169-0075 東京都新宿区高田馬場4-4-19
TEL : 03-5389-6379 FAX : 03-3368-2822 E-mail : jima-post@bunken.co.jp
詳細は、<http://www.jimanet.jp/activity/event/60kinen.html> をご参照ください。

第5回プロジェクトマネジメント学会主催国際会議

ProMAC2010開催のご案内

- (日 時) 2010年10月12日(火) ~ 15日(金)
(会 場) 幕張メッセ国際会議場及び東京ディズニーリゾート
(主 催) 一般社団法人プロジェクトマネジメント学会
(協 賛) 日本信頼性学会 他
(参 加 費) 発表者50,000円 / 学会員(早割) 65,000円, (通常) 80,000円 /
非会員(早割) 75,000円, (通常) 100,000円
4月29日まで発表募集をしています。
(お問い合わせ) 一般社団法人プロジェクトマネジメント学会
〒105-0004 東京都港区新橋5-12-9 ABCビル2回
E-mail info@spm-japan.jp FAX 050-3588-6935
詳細は、<http://www.lhweb.jp/promac2010/index.html> をご参照ください。

行事予定 下線は本学会主催行事

名 称	開催地	開催日	申込	参 照*
<u>IECディペンダビリティ規格研究会</u>	日科技連 千駄ヶ谷	4/20		
日本科学技術連盟 経営者・経営幹部向け特別セミナー「これからの日本のものづくり、サービスの課題解決に貢献できるリーダーと信頼性技術者の育成」	日科技連 東高円寺	4/20		
<u>LCC研究会</u>	日科技連 東高円寺	4/23		
日本信頼性学会 関西支部 2009年度第3回見学会	エスベック株式会社 神戸試験所 神戸市北区	5/13	5/6	
日本経営工学会創立60周年記念討論会・講演会	ベルサール神保町 千代田区西神田	5/14		http://www.jimanet.jp/activity/event/60kinen.html
<u>IECディペンダビリティ規格研究会</u>	日科技連 千駄ヶ谷	5/19		
<u>LCC研究会</u>	日科技連 千駄ヶ谷	5/21		
<u>第32回年次総会・日本信頼性学会第18回春季信頼性シンポジウム</u>	日科技連 千駄ヶ谷	5/28	3/1	http://reaj.i-juse.co.jp
(社)日本機械学会 産業・化学機械と安全部門 企画 食品製造設備の安全設計による競争力強化の課題	日本機械学会 会議室 新宿区信濃町	6/18		http://www.jsme.or.jp/event/201004/1006181s.htm
第29回日本シミュレーション学会大会	山形大学 工学部キャンパス 米沢市城南	6/19~20	3/15	http://www.jsst.jp/
第6回 日本・中国・韓国 構造および機械システムの最適化シンポジウム(CJK-OSM6)	京都ガーデンパレスホテル 京都市	6/22~25	1/10	http://www.jsme.or.jp/conference/dsdconf10/cjkosm6.html
<u>LCC研究会</u>	日科技連 千駄ヶ谷	6/25		
International Conference on Statistical Methodologies and Related Topics in conjunction with NZSA Annual Conference	Massey University, New Zealand	6/29~7/1	4/30	http://nzsa_cdl_2010.massey.ac.nz/
第5回プロジェクトマネジメント学会主催国際会議 ProMAC2010	幕張メッセ国際会議場及び東京ディズニーリゾート	10/12~15		http://www.lhweb.jp/promac2010/index.html
Asia-Pacific International Symposium on Advanced Reliability and Maintenance Modeling 2010 (APARM2010)	Victoria University of Wellington New Zealand	12/2~4	6/15	http://msor.victoria.ac.nz/Events/APARM2010/APARM2010